

団体名		一般財団法人武蔵野市給食・食育振興財団						
事業	① 指標名	むさしの給食・食育フェスタ及び小学校給食体験講座 参加者数の前年度比増			目標値	平成28年度比増	実績値	(フェスタ)334 (講座)36
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	達成率	105.7%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: 人)	(フェスタ)394	(フェスタ)302 (講座)29	(フェスタ)312 (講座)38				
	取組内容	※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 平成29年度は新事業(夏休みコミュニティ食堂)を夏休み中に試行実施したため、給食・食育フェスタは前年度の8月から開催時期を11月25日に変更した。子供から大人まで楽しめるようなプログラムを用意し、また前年度に引き続き商店会連合会にチラシを置いてもらう他、近隣のスーパーにポスターを掲示していただくなど、広報にも力を入れた。小学校給食体験講座は、小学校入学前の保護者に対し、小学校を「食」の観点から知ってもらうために、市子ども政策課・教育委員会で共催する平成27年度からの新規事業である。平成29年度は新事業を実施することも考慮し、開催回数を前年度の3回から当初の2回に戻し、プログラムの工夫を行った。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 体験型イベントである給食・食育フェスタは、児童生徒から大人まで幅広い年代層の参加を得ており、開催時期の変更にもかかわらず前年度より微増した。小学校給食体験講座は「食」について学んでもらうことを目的に様々なレシピ紹介を行ったが、開催回数を1回減らしたため、総参加者数は減少した(1回あたりの参加者は13→18と増加している)。						
二次評価	給食・食育フェスタに関して、開催時期の変更にもかかわらず、前年度よりも参加者が増えたこと、また、給食体験講座に関しても1回当たりの参加者は増えたことは評価できる。引き続き、広報活動を行いつつ、事業内容の充実に努めていただきたい。							
財務	② 指標名	学校給食提供コストの前年度比減			目標値	平成28年度比減	実績値	514
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	達成率	102.5%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: 円)	512	508	527				
	取組内容	※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・契約等の見直しによる物件費の削減 ・適正な職員数の把握及び維持 ・市派遣職員の配置換え等による減員に伴う財団職員への移行						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 前年決算対比で、派遣職員の減等による人件費の減少及び委託料等の物件費は減少したが、消費税の増加により、給食提供等に係る経費総額は前年度とほぼ同額となった。児童・生徒数が増加したため食数も増加し、提供コストは減となっている。						
二次評価	人件費及び物件費の減少によりコスト減が達成できたことを評価する。今後も、契約の仕様の見直しや適正な職員数の維持に努め、安全・安心かつ廉価な給食の提供に努めること。							
内部	③ 指標名	執行体制の簡素・効率化 (市派遣職員への段階的な移行)			目標値	(市派遣)1 (固有昇任)3	実績値	(市派遣)1 (固有昇任)2
	過去の実績	平成26年度	平成27年度	平成28年度	達成率	75.0%	達成状況	未実施・未達成・達成
	(単位: 人)	2	(市派遣)3 (固有昇任)5	(市派遣)△1 (固有昇任)3				
	取組内容	※29年度中の目標達成のための具体的な取組内容等について記入してください。 ・学校給食の安全及び調理等のレベルを維持することを前提に、段階的に市派遣職員を削減し、団体固有職員へ移行する。4月1日付で市派遣職員が1名派遣解除となり、団体固有職員2名を技能主任に昇任させた。また12月に主任昇任試験を実施した。 ・将来の組織の在り方がまだ明確ではないので、財団固有職員の昇任スピードについては当面、慎重に対応する。技能長については財団固有職員を抜擢するには経験が不足しているため、当面、市派遣職員を配置する。なお平成29年4月に市派遣職員が2名技能長に昇任し、北町調理場・桜堤調理場ともに調理部門の係長を置くこととなった。						
	一次評価	※目標の達成状況・要因・今後の取組方針等について記入してください。 ・採用後5年以上の財団固有職員を施設の調理現場の責任者である技能主任とし、該当施設の状況を常に把握させ、また技能主任としての業務能力の向上のために教育・指導することが必要となる。3月31日現在、共同調理場(2か所)に各2名以上、単独調理校(4か所)に各1名以上の技能主任を配置させている。						
二次評価	目標値までには届かなかったが、団体固有職員のうち2名が調理現場の責任者である技能主任に昇任した。今後も市派遣職員と財団固有職員それぞれの配属のバランスを考慮しつつ、安全でおいしい給食の安定提供に向けた効率化を図っていただきたい。							